

広報なかつえ

平成3年7月号／大分県日田郡中津江村／No.301

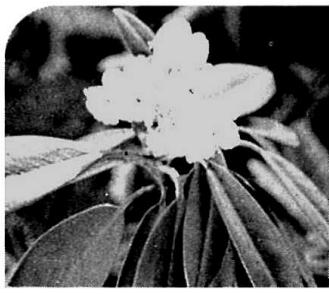


宮園神社の麦もちつきまつり <7月15日>

91

7

No.301



村花「しゃくなげ」

《村民憲章》

わたしたちは、中津江村民であることに誇りをもち、みんなで力を合わせて、明るく豊かな村をつくるためこの憲章を定めます。

1. 礼儀正しく、思いやりのある村民になります。
2. 自然を愛し、美しい環境をつくります。
3. 健康で、楽しい家庭をつくります。
4. 資源を生かし、生産にはげみます。
5. 伝統と文化を愛し、教養をたかめます。



- 優良納税組合**
- 平成二年度納税表彰組合
は次の通りです。
 - 五年間納期内完納組合
(五組合)
 - 原部、黒谷、平野、鶴田、
木弓、間地、中西、高迫、
石場、堤、簾、吉原、下切
上、下切下、鯛生一、鯛生
三、鯛生四、鯛生五、鯛生
七、市ノ瀬一、市ノ瀬二、
柿ノ谷、宮原、地蔵元
 - 一年間納期内完納
(四十一組合)
 - 下筌、築瀬、小野田、野
田、宮田、中村、田の口、
荒瀬、辛味打越、柄原一、
柄原二、二又、小園、川辺
上、川辺下、引野、八所、
 - 三年連続(二名)
 - (敬称略)

平成二年度中に家族そろ
つて無傷病で、国民健康保
険税を完納している家族で
次の方々です。

●三年連続(二名)

櫻原義孝、後藤数馬

平成三年度納税表彰及び納税組合長(集落
長)会議が先日役場で開催され、優良納税組
合等の表彰がありました。

平成三年度納税表彰及び 納税組合長(集落長)会議開催

●二年連続(二名)
野中政雄、高木和行

●一年間(七名)

猪野サカエ、石川一郎、
川原サダ子、栗原定雄、
長見元弘、山田寿賀雄、
湯村龍延

税金の取りまとめをしてい
ただく納税組合長の皆さん
方のご苦労は、大変なもの
だと思いますが、今後とも
ご協力をよろしくお願ひ申
し上げます。



集落長会議

表彰後引き続き三年度の集落長会議が開催され、村行政、村税、国民健康保険、道路愛護等について村執行部から説明がありました。出席した集落長や自治会長からも村道の管理や災害の復旧等に質問や要望が出されていました。



村税等の収入額状況

税目	年	収入額 千円
村民税	63	34,094
	元	36,096
	2	36,654
固定資産税	63	45,900
	元	51,874
	2	52,094
軽自動車税	63	1,502
	元	1,502
	2	1,741
たばこ消費税	63	7,511
	元	7,083
	2	7,369
合計	63	92,827
	元	97,286
	2	97,858

国民健康保険加入割合

区分	村全体	国保加入数	加入率	国保加入数の内 老人保健対象者
世帯数	500世帯	347世帯	69.4%	
人口	1,585人	874人	55.1%	193人

H 3. 4. 1 現在

年間医療費の状況(69歳以下の者)

年度	年間 総医療費	左の一人 当たりの額	村が支払う 年間医療費	左の一人 当たりの額
元	96,687千円	133,178円	63,096千円	174,782円
2	95,411千円	140,104円	67,470千円	194,438円

年間医療費の状況(70歳以上の老人対象者分)

年度	年間総医療費	左の一人 当たりの額	一人当たり の前年比
元	94,445千円	489,352円	△7.1%
2	96,638千円	500,715円	+2.3%

国民健康保険税の状況

年度	収入総額	左の1世帯 当たりの額	前年比	一人当たり	一人当たり の前年比
元	50,158千円	138,942円	△2.8%	52,194円	△2.8%
2	50,585千円	145,778円	+4.9%	57,878円	+10.8%
3	(予算)48,254千円	141,924円	△2.6%	58,137円	+0.4%

国民健康保険税の最高限度額 平成3年度から1世帯44万円



▲川野富子会長のあいさつ

日田地区生活改善グループ交換会

日田地区生活改善連絡協議会が主催するグループ活動交換会が、この度鰐生スポーツセンター他で開催されました。

この日田地区生活連絡協議会は、日田地区生活改善グループ員で組織された団体で、日田地区生活改善グループ員の相互の連絡提携と親睦を図り、生活改善事業の進展を図ることを目的としており、現在二十七グループ、百七十八名の会員を擁し、生活改善事業の確立と推進、生活改善の共通問題の調査研究、関係機関、他団体との連携と協調等の事業に取り組んでいます。

そして、このグループ活動交換会は毎年持ち回りで行われている研修会で、今回中津江村で開催されたものです。

日田地区生活改善グループ活動交換会開催さる

当日は、郷土文化探訪ということで、大分県無形民俗文化財に指定されている『麦もちつきまつり』を宮園神社で見学し、氏子たちの勇壮なもちつきに参加者たちも感心していました。

その後、鰐生スポーツセンターに会場を移し、開会行事では川野富子会長からあいさつがあり、来賓の大分県立九重少年自然の家所の植山課長から今後の活動についての激励の祝辞がありました。

開会行事に引き続いて、大分県立九重少年自然の家研修指導部長の藤野利雄先生を講師に迎えて、『豊かな心で暮らすために』というテーマで講演があり、「ふるさとを愛する心を子供たちに育てるためには皆さん方婦人たちが結集して努力



▲藤野利雄先生の講演

してほしい」との内容に参考した会員たちも大いに聞きました。

会員たちのなかに



昼食の後、農業新技術の紹介では、"バイオ技術によるわさびの優良種育苗"ということで本村のバイテクの取り組みについて、役場産業課の吉本バイテク係長から指導があり、参加者からも様々な質問が出されました。

午後からは、B & G津江海洋センターで市町村対抗ミニバレー大会を行い、参加者とも親睦とは言いながらも、一プレーごとに歓声があがっていました。

大分県は、九十年代を「地域構築の時代」と位置づけ、二十一世紀に向けての基盤づくりを進めています。昨年六月に策定しました長期総合計画をはじめ、地域の発想を基本にした農業、福祉、過疎振興などの計画を着実に実践し、それぞれの地域において真の豊かさを感じでき、住んでよかったですと言える地域をつくっていきたいと考えており、そのためにも県民の皆さん一人ひとりが自分の足もとを見直し、真の豊かさを享受できる地域の実現に創意工夫を重ねていかなければならず、このような意味で、それぞれの地域から県民の皆さんにご意見やアイデアなどをいただいて県政に反映させ、新しい豊の国づくりを進めていくために、昨年から「豊の国づくり・いきいきエコーライン」制度を開設しています。



豊の国づくりいきいきエコーライン委嘱式

このいきいきエコーラインは、県民の皆さん方に「エコーメンバー」（県政モニター）となっていました。県政について日頃から考えているご意見やアイデアなどをカード（ハガキ）により提出していただくもので、アイデアなどを県政に反映（エコー）させていきます。この度今年度のエコーメンバーの委嘱式が日田で行われ本村からも次の方々が委嘱されました。なお、任期は一年です。

（敬称略）

★藤川 一俊

自治会関係

★川野平八郎

農協関係

★梶原リツ子

婦人会関係

★武原 香

若妻会関係

★合谷 克哉

青年団関係

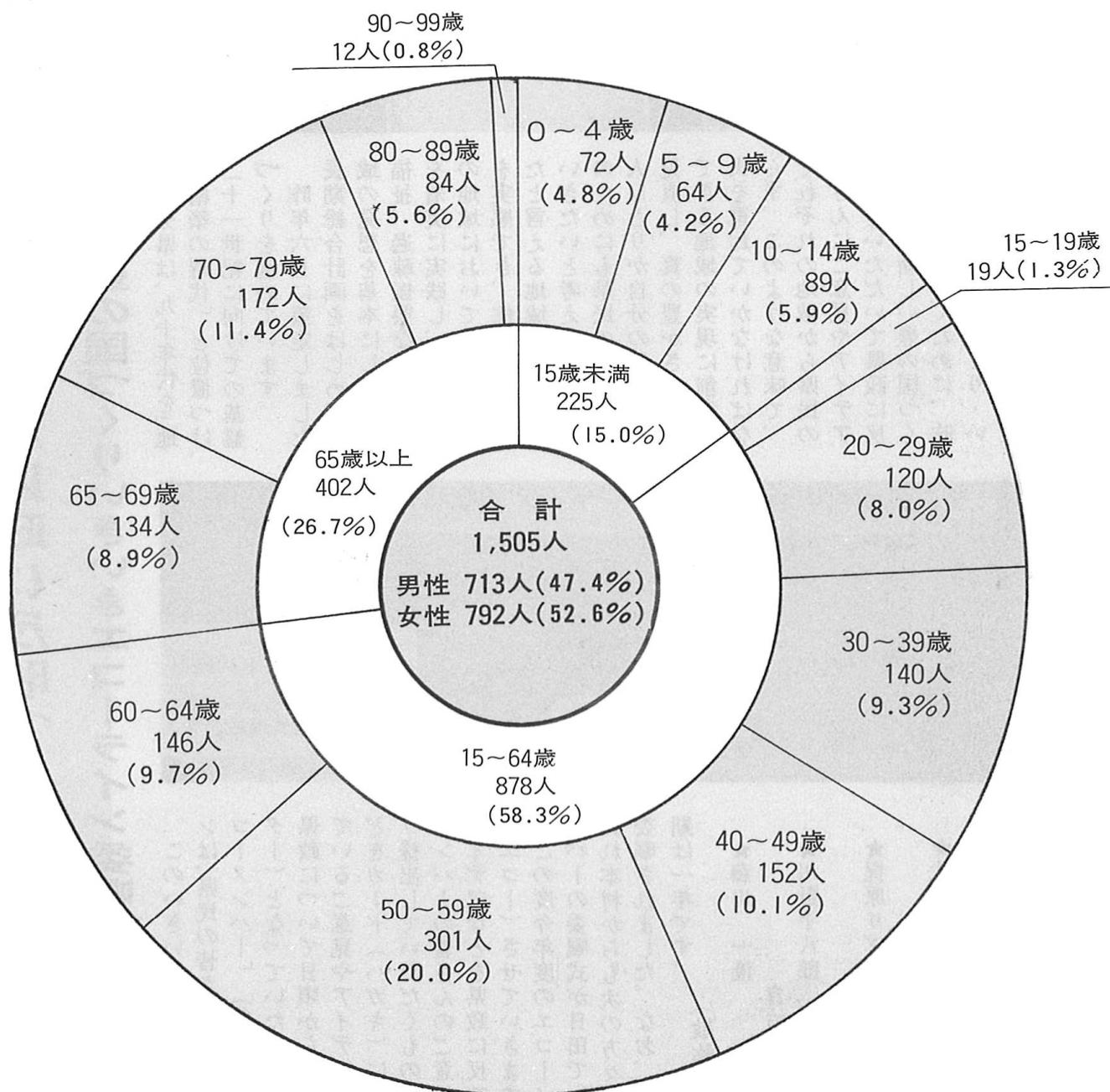
平均年齢 48.5歳(男性46歳・女性50.8歳)

中津江村の姿

中津江村の年齢別人口

(平成2年10月1日現在:国勢調査参照)

<資料1>



平成2年10月1日実施

国勢調査で見る

平成二年の国勢調査（平成二年十月一日現在）の年齢別人口が発表されました。中津江村の年齢別人口は資料1のとおりですが、村全体の平均年齢は四十八・五歳、男性の平均年齢が四十六歳、女性の平均年齢が五十・八歳となっています。今回の平均年齢を五年前の前回の平均年齢と比較してみると、全体で一歳、男性で〇・七歳、女性で一・三歳、それぞれ高くなっています。

また、三津江の平均年齢を比較してみますと、前津江村では全体の平均年齢が四十一歳、男性が三十九・六歳、女性が四十二・四歳となつており、上津江村では全体の平均年齢が四十五・九歳、男性が四十五歳、女性が四十六・八歳と両村とも本村よりも年齢は低く、本村の高齢化が際立っています。

資料2は今回の年齢別人口と前回の年齢別人口を比較したもので、村全体では八十二人減少していますが、六十五歳以上の人口は逆に四十六人増えており、高齢

年齢	平成2年国政調査			昭和60年国政調査			前年比(%)		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
0~4	72	37	35	63	30	33	14.2	23.3	6.1
5~9	64	31	33	74	45	29	△13.5	△31.1	13.8
10~14	89	50	39	82	38	44	△ 8.5	31.6	△11.4
15~19	19	10	9	25	11	14	△24.0	△9.1	△35.7
20~29	120	65	55	131	75	56	△ 8.4	△13.3	△ 1.8
30~39	140	81	59	146	81	65	△ 4.1	—	△ 9.2
40~49	152	72	80	219	103	116	△30.6	△30.1	△31.0
50~59	301	149	152	350	171	179	△14.0	△12.9	△15.1
60~64	146	65	81	141	57	84	3.5	14.0	△ 3.6
65~69	134	54	80	108	44	64	24.1	22.7	25.0
70~79	172	67	105	163	58	105	5.5	15.5	—
80~89	84	24	60	76	31	45	10.5	△22.6	33.3
90~99	12	8	4	9	5	4	33.3	60.0	—
合計	1,505	713	792	1,587	749	838	△ 5.2	△4.8	△ 5.5

化の問題はより一層深刻なものとなっています。

(再掲)

15歳未満	225	118	107	219	113	106	2.7	4.4	0.9
15～64歳	878	442	436	1,012	498	514	△13.4	△11.2	△15.2
65歳以上	402	153	249	356	138	218	12.9	10.9	14.2



勇 壮

宮園神社の夏まつり

中津江村にはいろいろな祭がありますが、中でも宮園鎮座津江神社（宮園神社）で七月十五日に行われる『麦もちつきまつり』は、七百五十余年の伝統があり、同神社の『的ほがしまつり』とともに大分県の無形民俗文化財に指定されています。今年のまつりも七月十五日に行われ、当日はあいにくの雨模様で、氏子たちもずぶぬれになりながらも、勇壮に麦もちをつきあげていました。

このまつりの由来は、その昔肥後の国と津江の境にある三国山のふもとの鬼戸ヶ獄に賊が住んでおり、付近の村々を荒らしていたため、長谷部宗俊が討伐に出向くことになり、宗俊は宮園神社に必勝祈願をして討伐に出た。激しい戦いの末宗俊は賊の大将を討ちめで

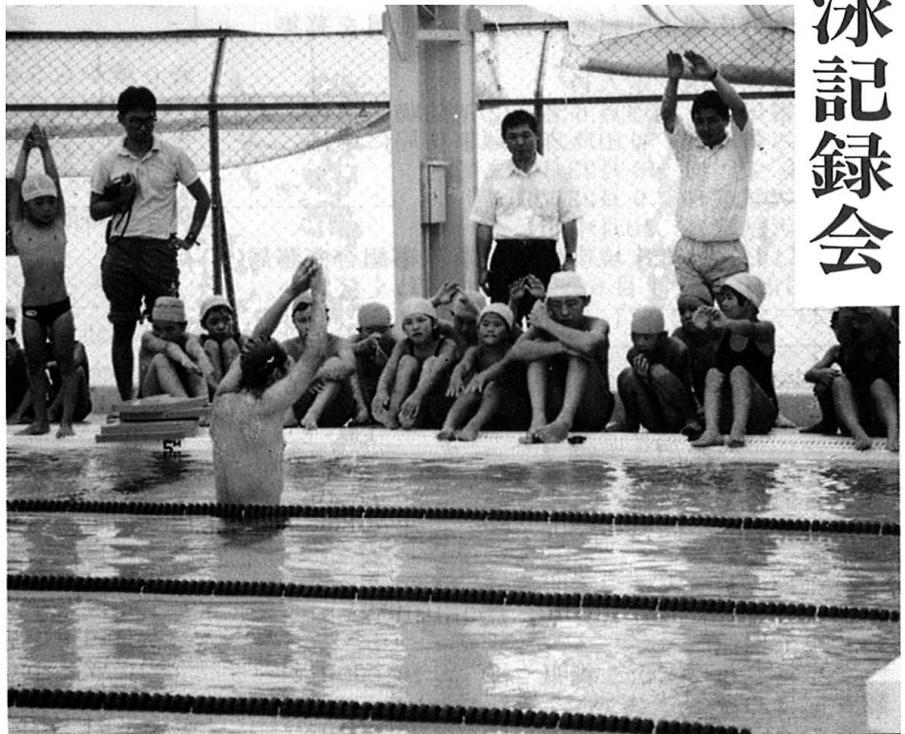
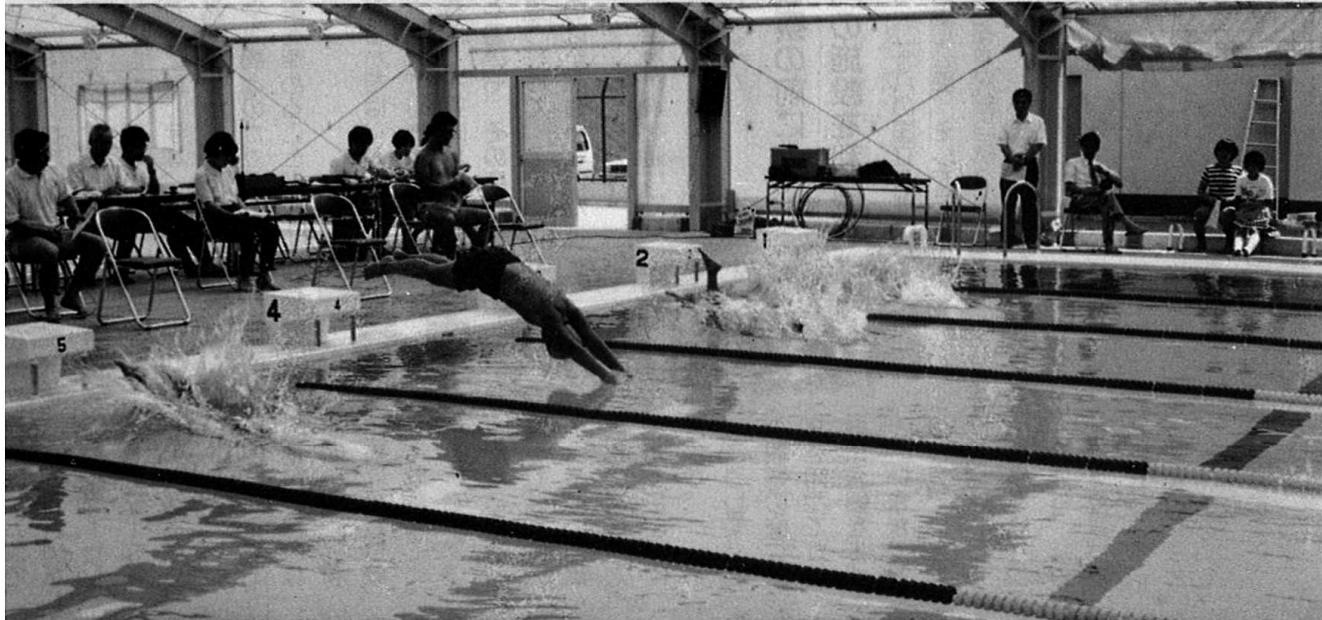


たく凱旋することができた。この戦勝は宮園神社のご加護によるものと、神恩に報いたが、昭和十年頃から新暦七月十五日に行われるようになつたと伝えられています。

来年もこのまつりは七月十五日に行われますので、村民の皆さんも是非一度見学してみてはいかがでしょうか。



好記録続出!!



小学校水泳記録会

村内三小学校の水泳記録会が、先日B&G津江海洋センターのプールで行われました。

子どもたちは日頃の練習を遺憾なく発揮し、どの種目とも好記録が続出していました。

競技の間には日田スイミングクラブ水泳コーチの櫟原先生から、呼吸やキック、ターンの仕方など、丁寧な水泳指導があり、子どもたちはもちろんですが、小学校の先生たちも熱心に聞き入っていました。

